



## 7月8日（土）に初の校外模試が実施されます

### 高校生が向上させるべき成績には2つの種類があります

1年生には初めてのことでよく分からないかもしれませんが、単刀直入に話題に入りましょう。1つは小～中学校と同様、各学期末に渡される**通知表の成績**です。これは提出物や定期考査とリンクしているので、自分でどの程度になるか予想が付きやすい成績です。ところが、高校生にはそれまでと違い、向上させるべきもう1つの成績があります。それは**校外模試の成績**です。1年生は年間3回（7・11・1月）・2年生は4回、3年生は通算9回もの校外模試が予定されています。そして、みなさんの目標である**志望校合格を実現するためには、むしろ校外模試の成績の方が重要になってくる**と言っても過言ではないでしょう。1～2ヶ月間学習した範囲から出題される定期考査と違い、大学入試は高校の学習課程全体から幅広く出題されます。それにどの程度対応する実力が身についているかを測るうえで、校外模試は非常に参考になる手段です。ぜひ、校外模試については真摯に取り組み、来たるべき3年生に向けて、その成績を向上させることを常に念頭に置いてください。

### 校外模試の成績を向上させるには？

では、校外模試の成績を向上させるにはどうしたらよいのでしょうか。校外模試は実力問題であるとはいえ、みなさんの日常の学習と密接に関わっています。ただし、**日々の学習の成果をきちんと頭の中に残していくことが必要**です。定期考査が終わったらきれいさっぱり忘れてしまう、という勉強の仕方ではいつまでたっても進歩がありません。**大学入試に対応するためにはインプット（知識）とアウトプット（活用する能力）の両方が必要**だとよく言われますが、知識のインプットには一定の時間が必要です。1年生のうちからこつこつと積み上げていくことが重要です。**受験勉強は1年生の時点で“すでに始まっている”**のです。

